

ゆたかクラブ豊橋だより

吉田春秋



第54号

■発行／ゆたかクラブ豊橋(豊橋市老人クラブ連合会) ■編集協力(株)博報社／名古屋市北区稚児宮通1-56 ☎0120-0212-09



第24回 豊橋市シルバースポーツ 中央大会

11月12日
市陸上競技場・豊橋球場

11月12日、第24回豊橋市シルバースポーツ中央大会が豊橋市陸上競技場と豊橋球場で盛大に開催されました。豊橋市が主催し、ゆたかクラブ豊橋(豊橋市老人クラブ連合会)と市体育協会が共催する恒例の秋のスポーツ大会で、今年は全9ブロックより予選

を勝ち抜いた36校区のおよそ300人がゲートボール、ペタンク、グラウンド・ゴルフの3種目の競技に挑みました。いずれのチームも強豪ぞろいで、実力伯仲。この日の大会に合わせるように晴れ上がった空の下、熱戦が繰り広げられました。



ブロック
総合優勝

仁連木ブロック



ブロック
総合準優勝

高師ブロック



種目別結果

ゲートボール

優勝	高豊校区
準優勝	津田校区
第3位	岩田校区
優勝	細谷校区
準優勝	福岡校区
第3位	玉川校区
優勝	栄校区
準優勝	賀茂校区
第3位	牛川校区

ペタンク

グラウンド・ゴルフ

私たちは、ゆたかクラブ豊橋の活動を応援しています

新年のご挨拶

ゆたかクラブ豊橋

（豊橋市老人クラブ連合会）

会長 金田 好正

ゆたかクラブ豊橋（豊橋市老人クラブ連合会）会員の皆さま、新年明けましておめでとうございます。

平成27年の新春を迎え1カ月あまりが過ぎましたが、皆さま方にはご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げますとともに、日頃より「ゆたかクラブ豊橋」の事業にご理解とご協力を

賜り、厚く感謝申し上げます。

さて、高齢化社会が益々進み3人に1人が老人クラブ対象年齢となっております状況の中、高齢者相互の支え合いが重要となることは言うにおよばず、私も高齢者が地域社会に貢献することの大切さも、まだまだ必要ではないでしょう

か。その観点から高齢者パワーを遺憾なく発揮し、世の中から好かれ、必要とされる高齢者（老人）になることの大切さを認識し、仲間づくりをしていただき「ゆたかクラブ豊橋」がますます発展しますことを念願します。また、会員各位が各クラブをこよなく愛し続けていただき、積極的にクラブ員の増強に一丸となつて邁進することにご理解をいただきますよう、心からお願い申し上げます。

本年度も年間事業を事務局のご支援と、皆さま方の絶大なるご協力により滞りなく実行してまいりましたが、中でも10月に行いましたシニアフェスティバルの第23回女性部チャリティーバザーにおきましては、会員さま方の1品ご寄付とお買い上げのご協力。そして女性部のバザーに対する熱心な取り組み。そこに各理事が一丸となつて取り組みまして、前年度に続き2年間連続売上げを100万円突破する快挙を達成することができました。過去には経験のないありがたいこと

で、使途につきましては本年度も各理事より要望のありました座いすの寄付を行いたいと存じます。ここに改めまして厚くお礼申し上げます。

寒さもまだまだ続きます。お体には充分ご自愛いただきまして、何時までもお元気で、楽しいお仲間をつくつてお暮らし下さい。

26年度もあとわずかとなりました。各役員並びに会員の皆さま方のご活躍・ご支援に支えられ職責を全うすることができそうです。ありがとうございます。

私たちは、ゆたかクラブ豊橋の活動を応援しています



第51回豊橋市高齢者福祉大会

平成26年8月27日(水)午前9時30分より、豊橋市公会堂において第51回豊橋市高齢者福祉大会が開催されました。

市と豊橋市老人クラブ連合会との共催による本大会は、戸鹿島はつ子副会長による「開会のことば」でス



タート。国歌斉唱、物故者への黙祷、堀内一孝副市長あいさつに続き、金田好正会長は「豊橋市老人クラブ連合会は昨年創立50周年を迎えました。それを機に『ゆたかクラブ豊橋』の愛称も決まり、この1年間、若年高齢者に親しんで参加していただけるようゴルフ大会やボウリング大会など新たな事業を行ってきました。クラブのさらなる発展のためには地域社会への貢献が必要です。少子高齢化が進むなか、高齢者パワーを発



引き続き、「老人福祉事業功労者」の川村律子さんに感謝状が贈られました。

川村さんは平成7年からケアハウスで生け花教室の講師をボランティアとして務めておられます。また、慶賀の意を表し長寿をお祝い



して、結婚60周年を迎えた79組のご夫妻と結婚50周年を迎えた216組の御夫妻に対し、それぞれ「ダイヤモンド婚祝詞」と「金婚祝詞」が贈られました。代表して、老津校区の中村孝・たつご夫妻が「ダイヤモンド婚祝詞」を、富士見校区の片桐政義・宣子ご夫妻が「金婚祝詞」を受け取り、藤原孝夫市議会議長と鈴木孝昌県議会議員から祝辞が



寄せられました。

この後は「思い出スライド」。およそ50〜60年前から今に至る時代の変遷を映像でたどる恒例の企画です。参加者のみなさんは、東京オリンピックや新幹線開通、大阪万博、オイルショックなど数々の映像に激動の時代を生き抜いてきた自分の姿を重ね、懐かしさに浸っていました。「大会宣言」で第1部が終了し、第2部では愉快なパフォー

第46回趣味の作品展

広報文化部長

小山 正博

10月22日(水)～24日(金)の3日間にわたり、豊橋市民文化会館にて第9回シニアフェスティバルが開催されました。文化会館の2階展示室において、趣味の作品



展が開かれました。絵画、木版画・ぬり絵、絵手紙、写真、書道、水墨画・南画、手工芸、華道、川柳・俳句など設楽町作品も含めて、合計222点が出品されました。昨年に比べて30点ほど少ない状況でした。盆栽やちぎり絵が出ていませんでした。新たに俳句や川柳が出品されていました。

入場者数は512人と、こちらも50人ほど昨年に比べて少なかったです。出品数が少ないと、入場者数も

少ないのでしょうか。絵手紙は手軽さもあるのと、仲間と共に創作する楽しさがあるのでしょう、全体の3割に当たる72人の方が出品していました。目を引いたのは写真。カモメが17羽橋の欄干に行儀よく羽を休めていました。趣味の作品、それぞれに形を変えて訴える想いが伝わってきます。

第23回女性部
チャリティーバザー盛会でした

女性部長 石川 房代



本年も10月22日から24日の3日間にわたってチャリティーバザーを開催し、あいにくの天候にも関わらず

朝早くから買いに来ていただき、山のように積み上げられた品物も完売と言ってもよいほどの売れ行きでした。

これも商品の出品をはじめめとして、バザーに関わってくださった皆さまの協力のおかげと、心より感謝申し上げます。この活動の成果は地域高齢者の福祉に役立てられます。

わが市老連も昨年度「ゆたかクラブ豊橋」と愛称を定め、新しい時代に即応して柔軟な活動のできる組織

を目指し、中でも地域における高齢者の居場所づくりの取り組みとして「高齢者サロンづくり」が市内の17カ所余で開催されています。その内容はそれぞれ異なりますが、お茶を飲みながら、おしゃべりをしたり、ゲームや手芸を楽しんでいます。「ここに来るとホッとすると」「心が癒やされる」そんな居場所づくりをと、クラブ会員だけでなく、地域の高齢者に門戸を広げて呼びかけています。

自分自身の健康づくりとあわせて、今後ともチャリティーバザー、サロン活動などを通じて、より多くの人たちと共に交流できるように念願し、会員の皆さま

第37回趣味の演芸大会開催について

生きがい事業推進部長

藤村 増男

当日は開館直後まで小雨が降っていましたので、天候を心配しましたが、その後雨も止んで多数の観客が早くから開館を待っていました。開場の時間は午前9時でしたが、予定より少し早く入場してもらいました。その際の注意として、走って行かないようにと、段差に気をつけるよう事故のないよう配慮しました。

9時30分より開会式を行い、主催者のあいさつで幕が開きました。今回の出演者は41チーム487名で、



詩吟・歌謡曲・民謡・民謡・舞踊・新舞踊・童謡唱歌・健康体操・ダンス・フォークダンスの種目でした。客席では、出演者を撮影



のご健勝とクラブのますますの発展を願い、日頃のご協力に感謝申し上げます。



開会直後には、出演者の衣裳や化粧の仕方が面白くて、場が盛り上がりました。出演番号が22番までで午前の部が終了しました。また毎年のですが、昼の休憩時間に本館1階の北側の外で、一生懸命に練習していた86歳の男性を中心にしたチームがありました。午後の部は1時から開演し、全体ではすべての出演者がいろいろ工夫して、衣装や小道具など、どの出演者も素晴らしく、熱演されました。

来年も日頃の練習の成果を発揮して、素晴らしい舞台を見せてくださるよう期待します。

私たちは、ゆたかクラブ豊橋の活動を応援しています

各種スポーツ大会結果報告

第 16 回グラウンド・ゴルフ大会

1. 日 時 平成 26 年 11 月 6 日(木)
2. 場 所 豊橋球場
3. 参加人員 約 600 名



総合優勝	男子の部	村川日出夫（賀茂）
	女子の部	山本まち子（花田）
順位	男子 A ブロック	男子 B ブロック
1 位	村川 日出夫（賀茂）	田代 勝也（花田）
2 位	山村 博之（玉川）	横山 茂（吉田方）
3 位	鈴木 敏男（嵩山）	河合 功恭（玉川）
順位	女子 A ブロック	女子 B ブロック
1 位	山本 まち子（花田）	榊原 三枝子（幸）
2 位	松井 貞子（東田）	加藤 澄子（牟呂・浜田）
3 位	小澤 久代（豊）	桜井 友子（栄）

第 2 回富安貞夫杯 ゴルフ大会

1. 日 時 平成 26 年 11 月 27 日(木)
2. 場 所 新城カントリー倶楽部
3. 参加人員 121 名



優 勝	今泉 勇（杉山）
準優勝	中田 益雄（大清水）
第 3 位	梅澤 修治（吉田方）



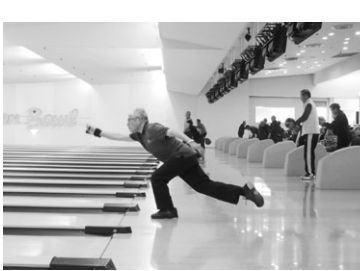
＜ドラコン賞＞

北コース 2 番ホール	河辺 勝利（松葉）、鈴木 久勝（津田）
東コース 8 番ホール	平河 伸允（老津）、百合嶋 昭光（向山）
南コース 1 番ホール	梅澤 修治（吉田方）、西島 昭雄（幸）

＜ニアピン賞＞

北コース 3 番ホール	山田 俊和（西郷）、平河 伸允（老津）
東コース 2 番ホール	白井 武男（大村）、川合 利廣（谷川）
南コース 4 番ホール	鷺坂 武年（小沢）、西島 昭雄（幸）

※上記の賞以外に、飛び賞（10 位ごと）、プービー賞を贈呈いたしました。



第 16 回ペタンク大会

1. 日 時 平成 26 年 9 月 24 日(木)
2. 場 所 豊橋市陸上競技場
3. 参加人員 156 名（52 チーム）



順位	チーム名
優 勝	花田 B
準優勝	津田 A
第 3 位	高豊 A
第 4 位	芦原
第 5 位	細谷 B
第 6 位	賀茂
第 7 位	牟呂 A
第 8 位	小沢 B

第 38 回ゲートボール大会

1. 日 時 平成 26 年 10 月 8 日(木)
2. 場 所 豊橋市陸上競技場
3. 参加人員 約 110 名（18 チーム）



順 位	チーム名
優 勝	玉川チーム
準優勝	松葉チーム
第 3 位	高豊チーム
	福岡チーム

第 2 回ボウリング大会

1. 日 時 平成 26 年 12 月 18 日(木)
2. 場 所 岩屋キャノンボウル
3. 参加人員 110 名（22 チーム）

＜団体＞

順位	校区名
優 勝	谷川校区
準優勝	牛川校区
第 3 位	幸校区

＜個人＞

順位	氏名（校区）
優 勝	大羽 昌雄（牛川）
準優勝	村田 善一（谷川）
第 3 位	鈴木 正宏（富士見）

※上記の賞以外に、飛び賞（10 位ごと）を贈呈いたしました。

チャリティーバザーを振り返って思うこと

女性部副部長 伊藤ツヤ子

市老連の女性部で、21 日の朝 9 時までに単位クラブの女性部長を中心に、各町の皆さま方の真心のご支援、ご協力をいただき、市

民文化会館のリハーサル室に山積みのお品の配送を賜り、たくさんのご寄付をいただきました。9 時半より校区の女性部

客さまがあり、またご寄付いただいた会員の皆様、ご賛同いただける皆さまがあつてこそ、チャリティーバザーの開催が女性部の行事の一環として成功をし、終了できましたことと存じます。

皆さま方の真心の総合力のおかげと胸に熱いものがこみ上げて参りました。私も今回で 3 回目の参加です。お客さまお一人おひとりお目にかかり触れ合う中で、自分自身が人さまの人情味あふれる言葉や心の機微、一言の言葉の重みを知り得ることができました。わが人生において、貴重な体験をさせていただけま

したことに、感謝申し上げます。誠にありがとうございました。



私たちは、ゆたかクラブ豊橋の活動を応援しています

校区・単位クラブ活動

11月19日(休)。晴れ、暖かな日和。渥美線の芦原駅に8時45分集合。風邪などで4名減り、63名でGO。田原駅では林先生と仲間の鈴木さんが出迎え。田原城門前



6月16日(月)、単位クラブの全役員が集合した席で、次のウォーキングに田原の提案が出ました。早速、7月に田原の町を歩き、資料を集めてプランを練りました。

田原市博物館で「たはらの風」林和彦会長に案内を教示願いました。「吉田春秋」を名刺代わりに持参しました。初対面でしたが、お蔭で林先生は快く引き受けて下さり、感謝。

他に今回は初めての昼食をする場所には、華山会館で室の使用了承を得ることができました。校区の役員とも打ち合わせ、各役員の役割もそれぞれ決めて最終プランをまとめ、新加入者勧誘のためにも、会員以外の方を含め参加を呼びかけ、結果67名(女性44名・男性23名)の方に応じていただきました。最多の参加者です。

参加者の皆さんの行動がスムーズで、予定通り14時32分に田原発に乗車。無事に終了しました。

皆さん、ご協力ありがとうございました。

今回は8月に「活動賞」が決定して、受賞記念として大変意義深く行うことができました。紙面をお借りして、関係者の皆さま方に心から感謝を申し上げます。

芦原校区

歴史探訪ウォーキング パート7
全老連「活動賞」受賞記念
渡辺華山の足跡
田原の歴史名所を訪ねる

芦原校区老人クラブ連合会 伊藤 公満

花田校区

花田校区ウォーキング大会

高砂会 櫻井 英之

花田校区老人クラブ連合会企画によるウォーキング大会が次のように行われました。

平成26年10月26日(日)、羽

田上公園を9時30分出発。向山大池公園11時50分着。途中2カ所で30分休憩し、約4kmの道程。女性22人、男性17人、総勢39人です。やわらかな秋の陽光の下、四方山話に花を咲かせながら和気あいあいといかに楽しんでみました。



ウォーキング効果は、この上なく向上しました。駅前大通りでは、1週間前の市民総おどりを思い出

「雨降って地固まる」といいます。皆さん力ぜをひくことなく、いいことがあったことと思います。

東田校区

歩け歩け東田(パート4)

親和会 森下 佐六

11月20日、底冷えするような寒い朝であった。

今日は、校区老人クラブのウォーキングの日である。紅く色づく東田小学校校庭の桜並木を眺めながら、校区市民会館前を出発したのは10時10分頃である。参加者は63人であった。小学校正門前の道路を横切り南へ進むと、左側に全

久院が見える。ここは、仁連木城主戸田家の墓所があり、国指定の重要文化財も保存されている。広い境内は静寂で簡素であった。さらに南へ進むと歩道橋がある。この橋は電車線路と横断するもので、眼下に電車が見える所でもある。歩道橋を渡ると、左折し東へ向かって歩く。この道は、戦

多米校区

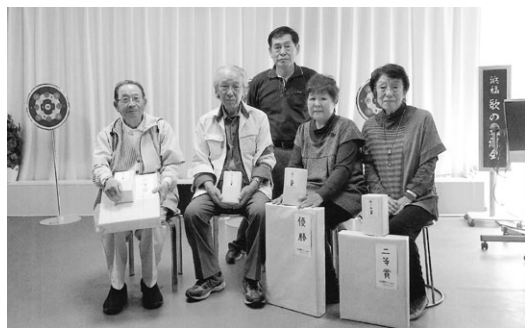
健康安全吹矢大会
多米吹矢会団体・個人とも賞を独占

第三和来会 太田 治

10月18日(出)、浜松市(シヤローム)において、日本コミュニケーション吹矢連合第2回健康吹矢大会が行われました。

多米吹矢会が参加し、すばらしい成績で団体優勝を勝ち取りました。また個人では、1位から3位までを獲得し、賞を独占しました。大会終了後、各団体の参

最後になりましたが、この企画をなさった役員の方々は終るまで、皆さん途中で具合が悪くならないで、事故がありませんようにと、祈る気持ちで気の休まる時がなかったと思います。誠にありがとうございました。一同感謝感謝です。



て見えることに驚いた。間もなく電車通りに出た。岩田郵便局東と信号機には標示してある。東田広場を左側に見ながら進むと東田球場、競輪場の建物が見える。大口公園の森も見える。歩け、歩け、終着地の仁連木老人福祉センターはすぐそこにある。



私たちは、ゆたかクラブ豊橋の活動を応援しています

校区・単位クラブ活動

岩田校区

笑顔がはずむ

素晴らしいふたばサロン

北岩田一区老人クラブふたば会

北井さえ子

環境の良い岩田校区に住まわせていただき、早半世紀にもなります。年月は過ぎてしまえば早いこと。

住み始めた頃は、畑や田んぼが多く、レンゲ草やら草花がたくさん咲いていました。また、雨の日には亀が道路で散歩をしていました。車も少なく、静かな暮らしができた時代です。近所付き合いもとてもスムーズにいき、井戸端会議も良くしたもので



す。自然に家庭内の様子も知り、互いに助け合い、励まし合って、安心して生活ができたことをとても懐かしく思います。

高齢者に対して、心身の健康づくりや介護予防につながる『ふたばサロン（文化的、社交的集り）』を7月から井原公民館で毎月1回、第3水曜日の午後1時30分から2時間、お茶をしながら、おしゃべりやゲーム、歌、軽い体操などを楽しんでいます。参加人数20数名。帰る時の皆さんの表情はとても明るく、晴れ晴



れとした様子に見えます。

この『ふたばサロン』が長く続けられるように、皆さまのご協力をお願いしたいと思います。

終了の合言葉

交通ルールを守ります。

オレオレ詐欺にかかりません。

「ああ、楽しかったね」と家路へ。

東田校区

想い出のウクレレ演奏

仁連木・東郷寿会 高橋 誠



昭和46年4月、小生初の海外旅行です。最初の寄航地がハワイのホノルル空港です。早速ウクレレ演奏で大歓迎を受けました。いまだにその素晴らしい音色とアロハは一生忘れることはできません。

あれから半世紀、今回、寿会月例会の行事として、仁連木老人福祉センターにて、誕生祝会を兼ねゲストとしてウクレレ演奏を依頼しました。ウクレレ演奏が聞く者の気持ちを若返らせ、想い出に残る楽しい時

を奏でていただきました。

「浜辺の歌」「テネシーワルツ」「コーヒールンバ」「有楽町で逢いましょう」「南国の夜」他、計10曲を演奏していただき、リーダーの素晴らしい美声と共に十分すぎる程われわれの心を癒やすと共に、楽しい出会いの時がありました。演奏をしていただきました南陽ウクレレ友の会8名の皆さんに、心から厚くお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

今こそ老人パワーが必要とされる時が、すぐそこまで来ているのではないのでしょうか。ゆたかクラブ豊橋は、重点目標として、
①積極的な加入促進活動の推進



悲しい象さん

飯村校区第二飯寿会

西川 文字

孫を寝かせる時には、必ず絵本を読んで聞かせたものです。その中で忘れることができないのは、上野動物園長さんの書かれた物語です。

昭和18年頃から、本土は毎日のように空襲に見舞われ、食料は配給なので動物にやる餌もままなりません。動物たちも空腹のうえ、空襲の爆音や光におびえ

会員随想

生き地獄です。

とうとう「動物たちを始

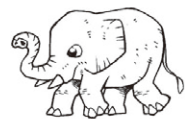
末せよ」との政府からの通

達。園長さんも涙をのんで協力なされたのでしょうか。

最後に残った象さんに餌を持って行くと、人の心の分かる象は「助けてほしい」とばかりに、餌も食べずにお客さまに観せる芸をしてみせます。園長さんはたま

りかね、鼻をなでながら、「許してくれ、国のためだ」と悲しい別れをなされたそうです。

園長さんは断腸の思いだったでしょう。そのお心



哀れなり慰めくれし生き物も戦の陰に露と消えなん

ある老人ホームを訪問して

向山校区
第一向山二区紅葉会

岩月 淳一

②高齢者が安心して暮らせるまちづくりの推進
③高齢者福祉に対する支援活動の拡大
④健康保持と生きがい活動の推進

「こんにちは、ラビット岩月です」と、いつもの赤いカバンを提げて入ってきますと、ホールの皆さん方、穏やかな笑顔で迎えてくれます。今日のお話は、先日琵琶湖の北「観音の里」といわれる、渡岸寺、赤後寺、充滿寺の三杜寺に行った時の話。

まず、つたない手書きの地図を示しながら、先方のカタログを交えて解説します。この湖北の地は戦国時代、この地を治めた者が

天下を取ると言われたように、姉川合戦、小谷城の戦、賤ヶ岳の合戦などで戦場となり、その度に村人たちは仏様を土中に埋め、時には川に沈め、仏様を戦火から守ったと伝えられています。特に十一面観音が多く見られますが、痛々しい仏様が多く見られるなどの話をしました。

続いてマジックの時間です。コップの水が一瞬で消えるなど、数点の手品を披露し、拍手のうちに終わり、最後は歌の時間です。歌は、皆さんが歌われた懐かしい歌を手書きにし、それをコピーして全員に配り、大きな声で喜んで合唱しました。そうするうちに、持ち時間はあっという間に終

り、ハイタッチをしながら次の訪問日を話し、ホームを後にした次第です。
このように、私がボランティア活動に参加するようになったのは、祖母の影響があると思います。父親を亡くし、母親は中学生の時に亡くし、祖母に育てられました。実は祖母は厳しい人で、箸の上げ下ろしまで厳しい人でした。その祖母の口癖は、「一人から後ろ指を指されるような人にならな」「困った人を見たら助けてあげよ」「親がないので兄弟は仲良くせよ」でした。この3つの言葉は、今も私の頭の隅にあるような気が致します。



宮古島に感激

花田校区
西羽田町老人クラブ
羽田 光江

この夏あるツアーで、2泊3日で沖縄と宮古島へ行ってきた。宮古島は初めての旅行で、快晴に恵まれた。独特の海の色と、どこまでも続く白い砂浜、そして空の青さはすばらしい。自然を満喫してきた。

特に満月で大潮だったので、潮の引きが強く、砂浜は言い尽くせないきれいだ。宮古島の北端の池間島へ、平成4年に開通したという池間大橋は全長1425メートルの一直線の海上橋だ。人口800人のカツオ漁の島だという。



また、西側の伊良部島へ渡る伊良部大橋は、今年開通し、3540メートルの日本最長の海上橋で、通行料はいずれも無料だそうだ。

宮古島の東平安名崎の灯台からは、太平洋と東シナ

海が眺められる絶景の地だ。島の産業はタバコ栽培とサトウキビ、そしてカツオ漁と牛の育成などで、稲は育たない。雨が降っても地にしみ込んで、田にならないそうだ。地下には貯水タンクがあつて、1年中スプリンクラーが動き、水は豊富で他の島への供給もできるという。太陽光発電と風力発電の実験も、以前から行われてきた。

住民は少ないが、トライアスロンとか、野鳥の会とか、貝をとる人とか、島以外から来る人で潤っている。ホテルも立派で、うえのドイツ文化村もある。温水プールもあり、水着で楽しんだ。宮古島市熱帯植物園もカトレアや胡蝶蘭とスバラシイ。こんな熱い所でも温室で栽培している。

観光は海中展望塔とか、潜水艦で珊瑚礁と色とりどりの熱帯魚を見ることだ。クマノミもかわいい姿で泳いでいた。餌まきをするとかい勢いで寄ってくる。島民の見たいものは、雪電車、稲穂だとのこと。



姫街道のおもてなし

嵩山校区
東ふれあいクラブ
平松 英樹

嵩山校区には、ご存知の方が多く、有名な姫街道が通っている。御油から嵩山を通って三ヶ日・気賀、そして磐田の見附までの60km余りの道のりである。

春には桜の花が、初夏には尾羽の美しいサンコウチョウが鳴き、秋には薄紫色のフジバカマにアサギマダラがやってくる。そして嵩山の山々は色付き、群生するツバキが花を咲かす。こんな自然に恵まれた姫街

認知症について

八町校区 旭第一寿会
中村 恒道

私たち旭町老人クラブでは、月に1度の談話の会を開いています。男女合わせて15人くらいです。名前は「青空の会」です。皆さん元気で和気あいあい、とても楽しいです。コーヒーやお茶もです。お菓子も手作りです。とても美味です。ときどき市役所の介護職員の方が2人見えます。ためになるお話をしてくれ

ます。認知症はなかなか治すことがむずかしいです。しかし予防することはできます。あるテレビ局で、大学



道を、多くの人々が通り抜けた。

人々を驚かす通行として、8代将軍・徳川吉宗の献上品の象が通った。また吉宗の生母・御代の方の通行も記録に残っている。

この姫街道が、平成8年に文化庁の「歴史の道百選」に指定され、全国区となった。また健康ブームと山ガールの流行もあり、多くのハ

の教授が話していたことを、私がメモしたものをお話しします。

認知症とは、脳細胞が弱った時や、完全に働きが死んでしまった時に起きる病気です。種類は4種類あります。1番多いのが「アルツハイマー型認知症」です。全体の60%です。

皆さん年をとれば、軽い症状がでます。これくらいのことなら全然心配はいりません。例えば、同じことを何度も言う、置き忘れ、しまい忘れが目立つ、人の名前が出てこないなどです。

重い症状の人は、玄関を開けて表に出て行って、帰ってきません。家族が心配して探して大ききにな

イカーが訪れるようになった。近年、大演歌歌手・五木ひろしの記念アルバムの中に「姫街道」の歌もあり、ご当地ソングとしてのPRにもなり、校区として喜んでいる。

そこで、多くの人たちに安全で安心、思い出に残る楽しいハイキングとなるよう、地元ふれあいクラブで姫街道の「おもてなし活動」を始めた。

沿道の草刈りや枝に絡みつくツル草の除去、台風や大風後の枝葉の片付けを仲間とともに取り組んでいる。四季折々の風景や珍しい植物(イカダソウ、ミソナオシ)などを見つけてもらえたらうれしいかぎりである。

ります。それから大便を手でぬぐって、ふとんやカーテンにつけてしまします。自分で何をやっているのかわかりません。

「自分で予防しましょう」「食生活と生活環境を見直しましょう」

食生活は野菜を多く摂る。青い魚を食べる。マグロも良い。

運動する、頭をつかう、テレビを見るのも良い。本や文章を読む。ダンスも良い。歌、カラオケも良い。皆さんこれからの人生を、楽しく明るく元気よく、がんばっていきましょう。



私たちは、ゆたかクラブ豊橋の活動を応援しています

布袋様

栄校区 弥生町大空会
小山 正博

体重は10キログラム以上多い。自己管理が下手な人。昔はかっぶくがいと褒められたのに。食生活が貧しかったころ、ごちそうにありつけるのは、盆と正月。飛び切りのごちそうには、盆と正月が一遍に来たと喜んだものだった。貧しさはある意味幸せだった。食生活が豊かになって、貧しかったころに比べて毎日のごちそう。慣れてきてもつとおいしい物を欲しがる。ぜいたくが日常化してしまふことが怖い。

寿会に入会して

東田校区
仁連木・東郷寿会
原田 捷士

私は、在職中、地域とほとんど交流なしに過ごしていました。しかし、退職後、地域にお世話になっていたことに気づき、地域と関わりを持って生活しようと思いました。そこで、町内の仕事を分担させていただきました。手筒花火の会に参加しました。でも、老人会に加わることはためらいがありました。幼い時目にした、鈴を打ちつつ御詠歌を歌う祖母たちの集まりが目につかぶのです。

そんな私が、会長さんに

幸せて何だろう。ありがと、と1日何回も言える。たくさん言えたらいい。ささいなことにありがとと言う。きつと心に笑顔が浮かぶ。顔も心もなしか緩んでいる。その積み重ねがいい顔になって、出会った人に安らぎを与える。人を幸せにできるなら、それは最高。

お金で買えない幸せは、大事だと思う。過ぎたるお金は誰かの分を奪い取っているらしいがある。お金のいらぬ幸せ。どんなに欠乏しても、不足を言わず、よしとする。それは心の問題かもしれない。気は持ちようということかもしれない。不足を言ったら限りがない。

寿会入会を勧められたのです。私はちゅうちょしつつ入会しました。

例会では毎回、楽しい催しが企画されます。ビンゴゲームにはついつい夢中になってしまいます。家族以外の人々に誕生日を祝っていただきました。人前で歌うことなんかまっぴらであつたはずなのに、ウクレレの演奏に合わせて唇が動いてしまいます。

こんなふうに、毎月の例会では、いつも無邪気に楽しんでる私を感じます。

また、会員の方々と言葉を交わす機会も増えました。その中で、趣味や仕事に生きがいを持ち、積極的に生きている人の姿に触れることがあります。そんな

ない。不満を言ったら限りがない。

喜べることはいっぱいある。空が青いとうれしい。花がきれいだと楽しくなる。空気が爽やかだと清々しくなる。友と語り合う和やかさ。体の調子は悪くない。体も年齢とともにガタがきても、一抹の不安を抱えながらも、素直に受け入れる。心の平安をふと考える。

一緒に風呂に入った人が、私のお腹を見ながら、布袋様みたいと笑った。



生き方に、私は、日々のくうたらな生活を反省させられます。

寿会私のイメージとは異なるものでした。高齢者が、今を楽しみ、これからに希望を持って生きることにつながる会でした。

私は地域と地域の人々と関わる事ができる新しい場を見つけ、うれしく思っています。



デンマーク。

ビボー。
ツデーマーチ花田校区 花二会
戸鹿島はつ子

平成26年6月28～30日、成田空港を出発し、飛行時間10時間40分かけてデンマークに着きました。高齢者には体力的にきつかったです。機内では食事が2回出ました。機内では日本映画を2本見ました。着後、専用車でホテルへ。23階建



で、19階に泊まりました。写真のようにユニークなデザインの新しいホテルで、床、窓、建具など、ガラス張りできていました。

27日、おとぎの国、アンデルセンの生まれた街を見学しました。アンデルセンは貧しい靴職人の息子で、オーデンセで生まれ、14歳の時にコペンハーゲンへ行き、有名な作家となりました。博物館は作家の足跡をたどる歴史の旅です。親指姫、赤い靴、はだかの王様、折り紙の船、切り絵などがあつて、見る物が多く時間



が足りませんでした。

28日、29日はビボーへ。2日間20キロメートルを完歩してメダルをもらいました。ゴルフホテルに泊まりました。ビボーでのウォーカーは親子連れの外国人が多く、こんなにちわとあいさつしてくれました。6000人くらいいたようですが、日本人は10名程度だと思います。外国人の私たちは家族で楽しんでます。子供たちと一緒に折り紙を折って、仲良く遊びました。

30日、ビボーから専用車

で4時間かけてコペンハーゲンに戻り観光しました。人魚姫は思ったより小さい像でした。ヨーロッパの私たちは、夏休みが2カ月あり休日を楽しんでいます。日本も見習つとよいと思いました。



みさん。

「声のきれいな」平松さん。
「会のマドンナ」恵木さん。
「ハイカラおばさん」山岸さん。
「高い所で見下す」徳倉さん。

またまた続く、次号までお楽しみ。



私の家族

多米校区 第一和来会
柴田七海子

「少しおつかれ」森下さん。

「大きな声の」若山さん。

「農園のことは俺にまかせろ」河合さん。

「少し早口」高松さん。

「こしのひくい」坪内さん。

「何をやってもすばやい」諏訪部さん。

「いつもここに」杉本さん。

「1人が大好き」伊藤さん。

「ゆつくりのんびり」しげこさん。

「口だけ達者な」七海子さん。

「カラオケ大好き」続木さん。

「スタスタ歩く」池田さん。

「いつもきちんと」キクヨさん。

「身も心もやさしい」むつ

御嶽山の噴火

栄校区
北山町老人クラブ若葉会
鎌子 千重

9月27日、御嶽山が突然噴火して、死者・行方不明者合わせて63人の尊い命が巻き込まれたことは記憶に新しいが、私にとつては胸が痛む自然災害である。

なぜなら、私は趣味と体力維持を兼ねて登山を愛し、各地の山を歩き、御嶽山には9回挑戦して頂上を極めたことが6回あるからだ。頂上で昼食を取るのが毎回のパターンであり、噴火時刻の頂上は、一番混み合う時間帯である。また、週末の土曜日であり、多数の犠牲者が巻き込まれたことは、最悪の条件が重なったことも要因になっている。

私も、7月6日に日帰り登山で御嶽山に挑戦し、時間不足で8号5号で断念しているが、噴火のニュースを知り愕然とした。国内の



活火山を6座ほど征服しているが、改めて自然災害の怖さを知った。自分もいつ遭遇しても不思議ではない、今まで運が良かったといえようがない。

11月8日、箱根大涌谷から最高峰の神山、箱根駒ヶ岳を縦走しているが、噴煙のすぐ側を通っている。突然噴火すれば、避難することは100%不可能だ。

大涌谷までは、交通の便も良く、外国人の観光客も多い。突然噴火に遭遇すれば、地獄絵図と化すだろう。大地震、津波、集中豪雨による土砂災害も多く発生している。自然災害に遭遇した時、いかに自衛するか肝に銘じて行動することが大切だ。



戦争にまつわる私の体験(抄)

二川南校区
二川南町寿会
山本 民男

大将

就学前のことです。「お前は、何になりたいんだ」父との会話でした。「大将」世間の子供なみにこう答えました。

渡辺華山の生涯と田原の歴史を訪れる

花田校区
稲場ダイヤモンドクラブ
古久根秀之

市の長寿介護課の奨励する脳トレ教室「旅行のすずめ」に参加する。初めどんなものかと不安と期待で出席した。明るく優しいファシリテーターの中村・鈴木さんの指導のもと、5名が集まった。全員80歳前後の青年淑女だ。早速「さんぽの会」と命名しスタートする。

まず身近な田原市と渡辺華山の史跡を訪れようと決まる。各自で田原の名所史跡、華山の生涯等々調べる。田原市商工観光課、案内所などよりパンフレット、史跡めぐりのマップなどを

「大将どころか、お前なんかガキ大将にもなれやせん。大将より偉い人があるのを知ってるか」

「それは何だ」

「元帥だ」

「元帥にはなれるんか」

「なれんとは言えん」

「元帥が1番偉いんか」

「その上に大元帥がある。大元帥は天皇陛下だ」

「天皇陛下にはなれるんか」

「天皇陛下の子供でなきゃなれん」

「天皇陛下はウンコ(大便)するか。オシッコするか」

送ってもらった。また渥美線、あるいはるりんバスの時刻表など調べ、それぞれ持ち寄り検討する。大変だったが結構楽しかった。

渥美線で三河田原駅、田原博物館、華山神社、池ノ原公園、八幡社、まつり会館、城宝寺、三河田原駅、新豊橋着と決まる。

10月9日決行する。三河



「人間たもんするさ」

神様や仏様が偉いということは承知していたと思いますが、普通の人になれないほど偉い者がウンコやオシッコすることがどうしても納得できませんでした。これが天皇陛下という言葉

ました。多くの家庭には皇室の写真が額に入れられて、表彰状の横に飾られていたのですが、なぜか私の家にはそれらの額縁類は一切飾られておりませんでした。(次号につづく)

大将の意味がわかって使っていたのではなくて、偉い人の代名詞として使っていたと思います。

成長するにつれて大将になると答える人は減少し、小学校高学年ではなくなり



田原駅よりバスで博物館まで乗る予定であったが、電車を予定より2本早く乗り、バス発車まで時間があ

り過ぎるので歩行することにした。

途中小雨が降りだし、急きょコンビニに走り傘を買うことあり、はや田原名物あさりせんべいを買う者等々。旅程シートを作り、パイルで首から掛け、色鉛筆を持ち、計画通りかと歩く。お弁当も予約して



おいたので、温かいお茶とみそ汁を付けてくれ好感を持った。八幡社より田原まつり会館に向かうも、マップを逆に見、反対方向に歩き30分余りのロスが出た。会館では管理人の鈴木さんの丁寧な、ユーモアをまじえての解説に心なごんだ。いろいろなハプニングもあったが、楽しく全員無事に帰豊でき、思い出の旅となった。



私たちは、ゆたかクラブ豊橋の活動を応援しています

豊橋大好き

豊校区
西岩田親睦クラブ
高橋 米水

みどりが多く、公園も
いっぱいあります。赤岩山、
岩屋山、運動公園（岩田）、
老人クラブの旅行以外、豊
橋から出たことがない豊橋
人間です。80 歳です。岩崎

の葦毛湿原、すすきがおい
で、おいでをしています。
ホテルも出ます。
バス停も近いし、市電の
駅も近いし、今いる所もと
てもいい所です。市の公民
館も、歩いて5、6分の所。
館長さんとてもいい方
で、毎週土曜日にはカラオ
ケに行っています。ポケな
いように、家のものに迷惑
をかけないように、通って

ます。左足がわるく正座で
きないですけど、犬のさん
ぽで、だいぶ歩けるように
なりました。ガンバろうと
思います。
子供の頃は食べる物がな
く、いもで大きくなりました
た。何を食べても、いも様々
でおいしい。自分が9 歳
だった頃、母がいもがゆを
作ってくれたのですが、5
人姉妹大きななべでいもが

ゆを食べました。米は泳い
で、いもの汁で腹をふく
らしました。みんなそう
だったと思います。今はし
あわせ、何でもあります。
息子のお嫁さんが来てか
らは、台所はバトンタッチ。
何でもおいしいです。特に
野菜を煮てくれます。うれ
しいです。新しうが、た
くわんなど、食べやすいよ
うに細かく刻んでくれる、

心くばりがやさしいです。
とにかく迷惑かけないよ
う、ポケないよう、ガンバ
ります。
地図で見てもど真ん中、
災害もあまりないいい所
です。ありがたい。豊橋に生
まれて良かったとつくづく
思います。
岩崎の葦毛湿原、賀茂の
しょうぶ園など、いっぱい
見る所があります。

会員文芸



俳句

■岩田校区 北岩田一区老人クラブふたば会
プライドを捨てて幸わせおりてくる

小椋かつ子

■岩田校区 平岡区老人クラブ若竹会
茜空声が遠のく蔵餅

白井 善晴

■岩田校区 東岩田長寿会
台風の傷跡多く胸痛む

加藤カツエ

■芦原校区 高師町明生会
浴衣姿老いも若きもみな主役

高橋 健

■豊校区 西岩田親睦クラブ
路の臺三つ四つ庭を彩れり

金田 英子

■豊校区 三ノ輪本町本寿会
しばらくは天に向ひて鷹渡る

磯部 馨

■八町校区 旭第一寿会
彼岸花あちこち咲て墓参り

中村 恒道

■吉田方校区 若波会
那智の滝しぶきに光る初日かな

河合 昭子

■牛川校区 若宮町ことぶき会
義姉の通夜帰りの車虫の声

豊田 しげ

■向山校区 瓦町通老人クラブ共栄会
秋深し千両の実も赤くなり

田中 豊子

コスモスや満蒙の日々はるかなり

市川 哲司

■谷川校区 中原町立岩会
十六夜や皆既月食見違せり

朝倉 政敏

馬跳びの子等は胸張る天高し

池田すみ江

プレゼント想ひもよらぬ新酒かな

稲葉 春夫

黒文字に一句捧げる秋野点

堤 昭雄



■飯村校区 第二飯寿会
山里の柚子売る老婆母に似て

佐野 栄子

■大清水校区 大清水老人クラブ虹の会
新涼の木下の卓に異邦人

水野 せつ



■老津校区 老津俳句会
供えたる榲青青神の留守

彦坂 たか

桐の葉の錦一枚拾いけり

三浦 松代

日短かサスペンスドラマいいところ

別所 善子

落日の色を染め行く草もみじ

中村きよ子

千し蒲団裏返したり叩いたり

石田 初江

落葉踏み仰ぐ山門仁王像

彦坂 博子

孫の出る運動会は今年まで

鈴木 純夫

椎の実を祠の裏に見つけた

鈴木 陽子

木犀や祭り始まり皆うかれ

明星 節子

金色の絵馬の唐鞍神渡る

高橋いすゞ

■杉山校区 みその俳句会
虫の音の夜更けて耳に終い風呂

花井 稔

酔いどれ家路は遠し十三夜

市川 淑洋

丘に立ち朝靄の景眺めろし

田中 秀幸

杖の身の萩こぼれゐる駅に立つ

彦田 純子

山の墓小路に桔梗の花二輪

竹内 澄子

幸せの過去が脳裏に十三夜

井土 幸子

■松山校区 東松山町睦クラブ
一粒も零さじと磨ぐ今年米

荒井須磨子

■豊校区 西岩田親睦クラブ
曾孫の赤鬼面を被りたる

金田 英子

写メ送られて笑福に満つ

鶴田 豊子



短歌

■豊校区 西岩田親睦クラブ
曾孫の赤鬼面を被りたる

金田 英子

写メ送られて笑福に満つ

鶴田 豊子

■鷹丘校区 忠興絆クラブ
八十路すぎあの世とやらが気にかゝる

鶴田 豊子

私たちは、ゆたかクラブ豊橋の活動を応援しています

■牟呂・汐田校区 坂津松寿会
パクつきて旨いスイカと云う孫に
丹精こむれば鼻の高しも

横田 久枝

■吉田方校区 若波会
花ざくらたわわにうれてあざやかに
道行く人も足をとどめん

河合 昭子



■牛川校区 若宮町ことぶぎ会
生受けて百歳近き齢かな
敬老祝ひ笑顔で感謝

豊田 しげ

■松山校区 前田南町第二長寿会
月見草もまだ目覚めゐる午前五時
犬の散歩に虫の音の添ふ

寺部 順子

■老津校区 老津喜楽会短歌教室
一筋の萩の白さを見つけたり
亡き人忍ぶ月の夜の道

石田 初江

大根のみな肩出して育ち行く
楽しみながら手間隙かける
鈴木きみゑ

秋野菜丹精こめて植付けし
台風が来て望み失なう

鈴木 元恵

人生は苦勞失敗当り前
日々前向きが良き日にゴール
中村 弘子

生産地畑一面にキャベツ畑
雨の恵みで育ち良好

彦坂 貞子

「半音上るのよ」云われた方はとまどうて
会得出来ない老いのコーラス
伴 匡晃

遅々として母の遺品は片づかず
どの品々も思い出つまりて

柵木 早苗

■慰鵜近寄りて顔見合せる
聞かせておくれ秋の調べを
三浦 松代

電車からふと目にとめしブドウ棚
むらさき色に続くトンネル

■飯村校区 シニアクラブ同好会
山道で椎の実みつけ囁んでみる
若い頃にはちと歯が立たぬ

原田 玲子

■前芝校区 前芝校区短歌教室
三十五年前娘と見しままに忘れをり
《ヒバ宝塚》今よみがえる

中河 迪子

■他人事に思ひし災害ふりかかれば
足弱きわれ如何にすべきや
山本 幸代

《しおかぜバス》名もさはやかなタクシーバスの
走りゆく見ゆ侍ちて見送る

■幸校区 南松原寿会
富岡の世界遺産や製糸跡
明治の息吹き現在に残せし

菅谷 益夫

宿の中温泉めぐるスタンプを
集め歩めた勝浦の湯や
大橋 睦子

健脚を誇りし吾も八十にして
ぼっちゃりさんにすいと抜かるる

金子 浩吉

老いてみて母を思いて涙する
手の温もりが今も残りにて
伊藤富士子

■大崎校区 大崎第一クラブ
虫の音も遠くなりしか眠られぬ
夜は訳もなく親の顔浮く

大塚 千代

■大崎校区 大崎第二クラブ
亡き姑の里芋作りは優れ居り
今年は我が家もまずまずの出来

田中さな江

■大崎校区 大崎第三クラブ
留守番と小犬の世話に日を過ごす
体動くを幸いとして

高田よ志子

■岩田校区 平岡区老人クラブ若竹会
縁側で眺む山茶花日々に伸び
秋の開花を首伸ばしけり

白井 善晴

■北岩田三区老人クラブ福寿会短歌の会
嵐過ぎ枝葉散り敷く公園に
子等に負けじと飛ぶ赤とんぼ

城 憲男

■山谷あれどなぜかなつかし
過ぎて来た九十年の長き道
山谷あれどなぜかなつかし

大野 興子

■繁り葉の中に実りし柿一つ
色あざやかに夕日に映える
伊藤みつよ

風流がる音のきこゆる道の端に
彼岸花咲き笑みのこぼれる

伊藤美和子

■晩年の身辺整理墓建てた
悟りのごとく心晴れやか
村田 信男

■東田校区 東雲町老人クラブ和友会
友人ありて桃もらいたり頬ばれば
まことにヂューシー感謝して頂く

松田 陽子



サマーセールちよっぴり当りいい気分
まだ若いちよっぴり過信後たる

■芦原校区 高師町明生会
七五三子よりも親が燥ぎすぎ

■岩田校区 平岡区老人クラブ若竹会
煩惱を断てず未練の暖簾酒

■東田校区 第一喜楽会
木枯しに向かいて老の腰伸ばす

■吉田方校区 若波会
孫曾孫お年玉手に飛び上り

■福岡校区 橋良東みどり会
取説を見ずに操作の孫の脳

■富士見校区 ニューレイク第一クラブ
年老いて友より電話嬉しかな

■杉山校区 杉山老人クラブ明日望会
親ごころ伝えきれない距離がある

■ほとほどに物忘れして卒寿の賀
親のごと気使いくれる友がいる

■ままならぬ汚れた心洗濯も
善し悪しの伝わる世間波荒し

■子を叱る親に欠けてる誉め言葉
■飯村校区 第二飯寿会
アメとムチだましだましの老いの坂

■栄校区 弥生町大空会
縁側で陽に溶けたならかげろうに

■西郷校区 西川西部長寿会
しづしづとしたお見合いで五十年

前田 和代



■東田校区 仁連木・東郷寿会
「ちよつと／ちよつと／ちよつと／ちよつと／ちよつと／ちよつと」
さりげなく席を譲られちよつと照れ

一寸待てこの一口がメタボ源

身を締めちよつと座るバスの席

人生はちよつとびり意地と二人連れ

サロン会ちよつとびりめかし駆けつける

優雅ですちよつと気取りぬ蝶の舞

ちよつとこの重みが違うサツカーか

年金でちよつとへそくり孫にやり

一寸だけ脳の活性川柳で

おばさんはちよつとちよつとと輪ができる

榎島 謙一

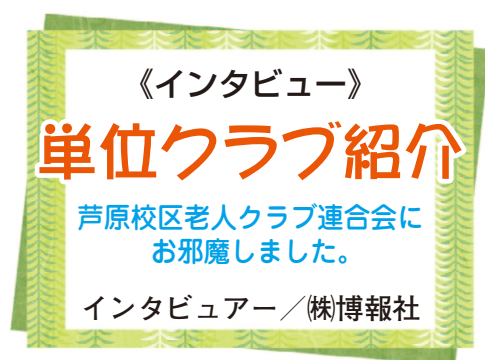
後藤マサ子

前田 和代

同連合会は西高師長生会、芦原町友の会、新芦原しらかば会、高師町明生会、松井町みどり会の 5 つのクラブ（会員数 368 人）から成り、会員間の交流と親睦、地域との関わりを深めるためユニークな活動を続けています。去る 6 月 16 日、伊藤公満会長をはじめ役員 16 人が芦原校区市民館に参集し、連合会の今後の活動内容について意見交換を行いました。

現在、連合会では春秋の親睦旅行をはじめ、地元小学校との合同防災訓練や保育園の運動会、餅つき大会などへ積極的に参加し、地域とのふれあい交流に努めています。昨年 7 月には「三世代交流スポーツフェスタ」を開催し、世代を超えてカローリングやシヤッフルボードなどの軽スポーツを楽しみました。このほ

座談会 今後の連合会活動について考える



ゆたかクラブ豊橋からのお知らせ

◆ 趣味の教室発表会日程表 ◆

ブロック名	開催日時	開催場所
仁連木	平成27年2月10日(火)	仁連木老人福祉センター
つつじが丘	平成27年3月15日(日)	つつじが丘地域福祉センター
大 岩	平成27年3月14日(土)	大岩老人福祉センター
牟 呂	平成27年3月13日(金)	牟呂地域福祉センター
高 師	平成27年3月12日(木)	高師老人福祉センター
大清水	平成27年2月21日(土)	大清水地域福祉センター
下 地	平成27年3月12日(木)	下地老人福祉センター
石 巻	平成27年3月7日(土)	石巻老人福祉センター
八 町	平成27年3月19日(木)	八町地域福祉センター

こうしたイベントへの参加で会員間の横の連携が深まり、例えば、あるクラブが行っている誕生会やカラオケ大会、健康をテーマにした講演会など実施することで、懸案である会員の減少に歯止めをかけることができる

か、ユニークな催しとして歴史探訪の要素を盛り込んだウォーキングがあります。すでに 7 回実施しましたが、埋もれた町の歴史の発見につながるというたいへん好評を得ています。今後はコースを拡げ、電車での日帰り歴史探訪を考えたい。参加者が増え、できればと思います。



かもしれません。サロン会などの集まりはおしゃべりの場です。「特に目的を持たなくてもぜひご参加を。参加して話するだけでも心が和みますよ」。

編集後記

吉田春秋をお届けします。今号もたくさんのご投稿をいただき、ありがとうございます。広報文化部では、皆さま方のご意見・投稿などをお待ちしております。

今後も読みやすく楽しい紙面づくりに努力してまいりますので、よろしくご支援をお願い申し上げます。 豊橋市老連 広報文化部

原稿募集

◎校区活動、単位クラブ活動、俳句、短歌、川柳、随想などの投稿を募集します（写真を添付いただく場合はきれいなものをお願いします）。

◎原稿用紙 600 字。俳句・短歌・川柳については各 1 点ずつでお願いします。 ◎必ず、校区名・単位クラブ名・氏名を明記してください。

◎紙面の都合上、やむなくカット・見送る場合があります。

◎締め切り／5 月末日 ◎投稿先／ゆたかクラブ豊橋事務局

（豊橋市今橋町 1 番地・豊橋市役所長寿介護課内） ☎ 51・2337

ご協賛各位へのお礼

この度「吉田春秋」の発刊にあたりまして、広告掲載のご協力を賜り誠にありがとうございました。

本紙は、会員が生きがい・健康・教養を高めながら交流の輪が広がるよう願って刊行いたしております。

今後とも何とぞ末長きご厚誼、ご支援をお願いいたします。

ゆたかクラブ豊橋

私たちは、ゆたかクラブ豊橋の活動を応援しています